

「ネモト・ポルトガル社」創立 25 周年記念祝賀会 東博史駐ポルトガル日本国大使挨拶

根本特殊化学会長、ディオゴ・マテウス・ポンバル市長、ご列席の皆様

本日は、「ネモト・ポルトガル社」の創立 25 周年記念祝賀会にお招き頂きありがとうございます。また、「ネモト・ポルトガル社」の創立 25 周年誠におめでとうございます。

「ネモト・ポルトガル社」は、1990年5月ポンバル市に生産工場竣工以来、四半世紀にわたり、「畜光材」を生産し全世界に向けて輸出され、まさに「世界中を光らせて」こられました。この間、ポンバル市に「雇用」を創出し、「畜光材」の輸出により、ポルトガルの経済成長に貢献されました。特に、ここ数年の経済危機下におけるポルトガル経済への貢献は、ポンバル市長初めポルトガル政府にとっても大変有り難いものであったと存じます。

当国駐在の日本大使として、当国に、同社を創業頂いた根本特殊化学の根本会長に改めて御礼申し上げますとともに、山口社長はじめポンバル工場の全従業員の御努力に敬意を表したく存じます。また、ポンバル市当局、AICEP はじめポルトガル関係当局の皆様のご支援に対し御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、昨年5月の安倍総理の歴史的なポルトガル訪問、本年3月のコエリョ首相訪日に加え、先週4月30日から5月2日まで、谷垣日本ポルトガル友好議連会長がポルトガルを訪問されました。いずれも歴史的な意義をもつもので、安倍総理のポルトガル訪問は、現職の日本の総理としては初めての訪問、コエリョ首相の訪日は首相訪日としては25年ぶり、谷垣会長のポルトガル訪問は、議連会長としては初めて、谷垣先生のポルトガル訪問は29年振りでした。これら両国首脳レベルでの相互訪問により、また、昨年7月の我が国のポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)へのオブザーバー加盟により、日・ポ二国間関係は、新たな段階に入ったとも言え、今後飛躍的な関係強化が望まれております。

このような中で、安倍総理とコエリョ首相の首脳会談において、両国間の「貿易・投資の促進」を図ることは、最も重要な課題とされました。「ネモト・ポルトガル社」は、日本からポルトガルへの投資の「先駆け」であり、日本からの投資の「模範例」として、今後も更なる発展・繁栄をお祈り申し上げます。

また、「根本特殊化学」には、2006年から「日本ポルトガル協会」の事務局をつとめて頂いております。日本国内各地にある「ポルトガル協会」の連携の中心として、とりわけ、両国間の経済、文化関係で活発な活動を展開頂き、日・ポ友好親善に大きく貢献していただいております。当国駐在日本大使として、改めて心より御礼申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。本日は、お招きありがとうございました。また、おめでとうございます。